

学校教育目標:志高く 未来を拓く 高西中教育

共に拓く

尾道市立高西中学校
第3学年通信第5号
令和3年7月20日

オンライン「いじめSTOP集会」がありました！

いじめの定義やいじめの現状を理解し、「いじめは絶対に許されない」「いじめは犯罪である」ということを学校全体で再確認することができる。また、この集会を通して1人ひとりがいじめをなくすためにできることを考え、行動することができるということを「めあて」とし、「いじめストップ集会」を行いました。

集会は、本部と各教室、校長室をオンラインでつなぎ、生徒会執行部のみなさんの進行で行いました。まず、生徒会執行部の仁井さんより、「この集会では、いじめに関することや、いじめをなくすためにどう行動すればよいのかを考えます。高西中学校からいじめをなくし、1人ひとりが安心して生活できる学校づくりをするためです。」と挨拶がありました。その後、生徒会執行部がこの日に向けて作成したスライドをもとに、「いじめ」について理解を深めました。その後、生徒会執行部が作成したいじめに関する動画を見て、被害者や傍観者の立場で問題をとらえることで、いじめをとめるためにできることについて各学級で考えました。「いじめは絶対に許されない」という視点に立って、一歩踏み出す勇気と行動力が「いじめSTOP」につながることをじっくりと考えた1時間だったと思います。みなさんが書いた「いじめストップ宣言」をぜひ行動にうつしていきましょう。集会の最後に校長先生からお話がありました。

《校長先生のお話》

「もっともやってはいけないこと、許されないことは、「人を傷つけること」「人を傷つけていることに気づかないこと」だと思います。この時に学校という場所で考える視点は、「どうすれば人を傷つけない」かではなく、「人に思いやりを持って接するとはどういうことか」という視点です。何気ない、自分にとっては「小さな小さなちょっかい」で「面白おかしく」やっている言動が、大きな大きな傷を相手の心に刻むものになるかもしれません。これは大人も子どもでも同じです。私にもそういう面があるかもしれません。だから、大事なことは、自分自身の生き方を振り返り、見つめ直そうと日々考えていくことだとおもいます。今日、この機会に自分の生き方を少しだけ振り返ってみてください。

☆いじめSTOP集会の様子☆



【みんなの感想より】

- ・集会を通して、傍観者もいじめをしていることになるので、加害者にやめようと言をかけたり、言いにくかったら大人に相談したりすることが大切だと改めて理解することができました。今後、いじめを見たらきちんと止め、見て見ぬふりをしないこと、一緒になってしないことをきちんと心掛けていきたいです。
- ・この集会を通して、いじめは傍観者でもいじめをしていることになることと、いじめをすると被害者は物理的な追い込み以外に心理的にも苦痛になるということがわかったので、いじめを起こさないために自分からいじめの雰囲気をつくらないようにしていきたいです。全員と仲良く過ごしていきたいです。
- ・この集会を通して、いじめは加害者だけでなく、それを見て見ぬふりする傍観者も加害者になり、誰か1人でも何か行動することで、いじめをなくしたり、被害者の苦しさをなくしたりできることが分かった。
- ・この集会で、本当に自分はいじめをしていないといえるのかなと考えなくてはいけないなと思いました。いじめというのは大人になってもなくなりにくいと思うので、今のうちからしてはいけないという雰囲気をつくっていきたいです。
- ・今自分たちがこの場所で、いじめの元となるものを断たないと、これからの社会の問題になると気付きました。これらいじめがうまれないように頑張りたいです。